

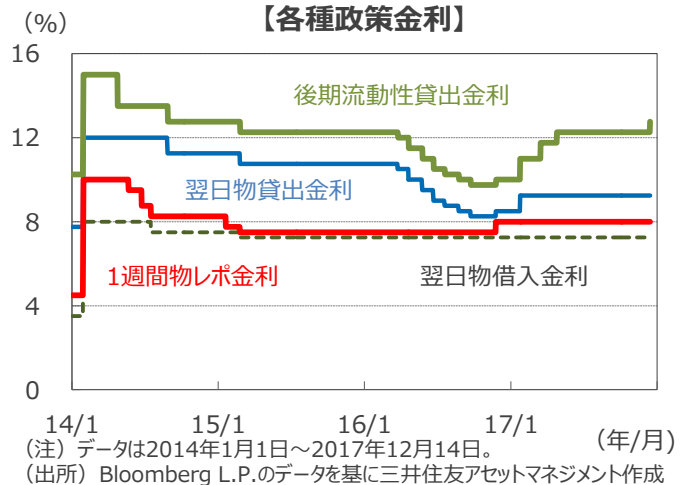
今日のトピック トルコの金融政策（2017年12月）

0.5%の利上げ、トルコリラは失望売り

ポイント1 0.5%の利上げ

利上げ幅は市場予想を下回る

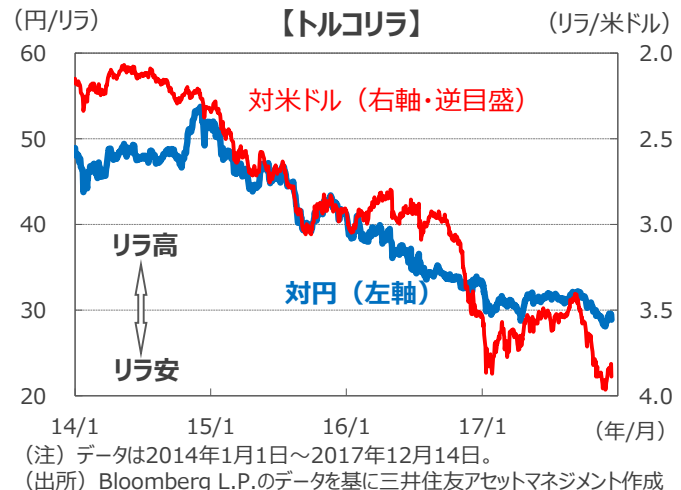
- トルコ中央銀行（以下、中銀）は14日の金融政策決定会合で、事実上の貸出上限金利である「後期流動性貸出金利」を0.5%引き上げて12.75%とすることを決定しました。市場（ブルームバーグ集計）では1.0%の利上げが予想されていました。
- その他の政策金利の翌日物貸出金利、1週間物レポ金利、翌日物借入金利はそれぞれ9.25%、8.00%、7.25%で据え置かれました。



ポイント2 インフレを警戒

金融引き締め姿勢を維持

- 中銀は声明文で、引き続き景気に対する強気の見方を示し、現在のインフレ率の水準はインフレ期待や企業の価格設定行動に波及するリスクがあるため、金融引き締めを強化したと説明しました。中銀はインフレ見通しが目標水準に低下するまで、金融引き締め姿勢を維持するとしています。
- 今回の利上げが市場予想よりも小幅だった要因としては、中銀が先行きインフレ率が低下すると想定していることに加え、引き締めに否定的なエルドアン大統領への配慮も考えられます。



今後の展開 トルコリラは対米関係を含めた政治情勢に注視が必要

- トルコリラ相場は対ドルで、4月の国民投票で大統領の権限強化に向けた改憲案が承認されたことから9月にかけて上昇していましたが、10月以降は、米国とトルコがそれぞれビザの発給業務を停止したことを契機に、対米関係の悪化が嫌気されて急落しました。11月下旬には、1月につけた過去最安値を更新しました。
- トルコリラは14日、利上げ幅が市場予想を下回ったため失望売りから対ドルで大幅に下落しました。今後もトルコリラについては、対米関係を含めた政治情勢や金融政策への注視が必要です。

ここも
チェック! 2017年10月27日 トルコの金融政策（2017年10月）
2017年 9月15日 トルコの金融政策（2017年9月）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。